

エムスリー株式会社

会社説明資料

2020年10月



本書には、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本書の作成時点における予測等を基礎としてなされたものです。また、これらの記述は、一定の前提(仮定)の下になされています。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、または将来実現しないという可能性があります。

また、本書に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

エムスリー株式会社

2020年度第2四半期：連結業績サマリー

2020年度第2四半期 連結業績

IFRSベース

単位：百万円

	FY2019 Q2	FY2020 Q2	前年比
売上高	61,545	75,022	+22%
営業利益	16,549	23,931	+45%
税引前利益	16,597	23,943	+44%
純利益	11,312	16,587	+47%

株式の売却、評価などのインパクトを除く事業面だけで見ると、前年比
+61%

 株式の売却、評価などのインパクトを除く事業面での対前年利益成長率は、Q1:41% → Q2: 83%に倍増

2020年度第2四半期 連結業績(セグメント別)

単位: 百万円

		FY2019 Q2	FY2020 Q2	前年比		
国内	メディカル プラットフォーム	売上収益	22,269	30,915	+39%	
		利益	7,404	13,748	+86%	
	エビデンス ソリューション	売上収益	10,739	9,603	-11%	
		利益	2,209	1,631	-26%	
	キャリア ソリューション	売上収益	8,760	8,194	-6%	
		利益	3,150	2,824	-10%	
	サイト ソリューション	売上収益	5,634	7,976	+42%	
		利益	357	829	+132%	
	エマージング 事業群	売上収益	1,506	1,430	-5%	
		利益	544	340	-38%	
	海外		売上収益	13,977	18,314	+31%
			利益	2,667	5,083	+91%

株式売却のインパクトなどを除いた利益は前年比106%増

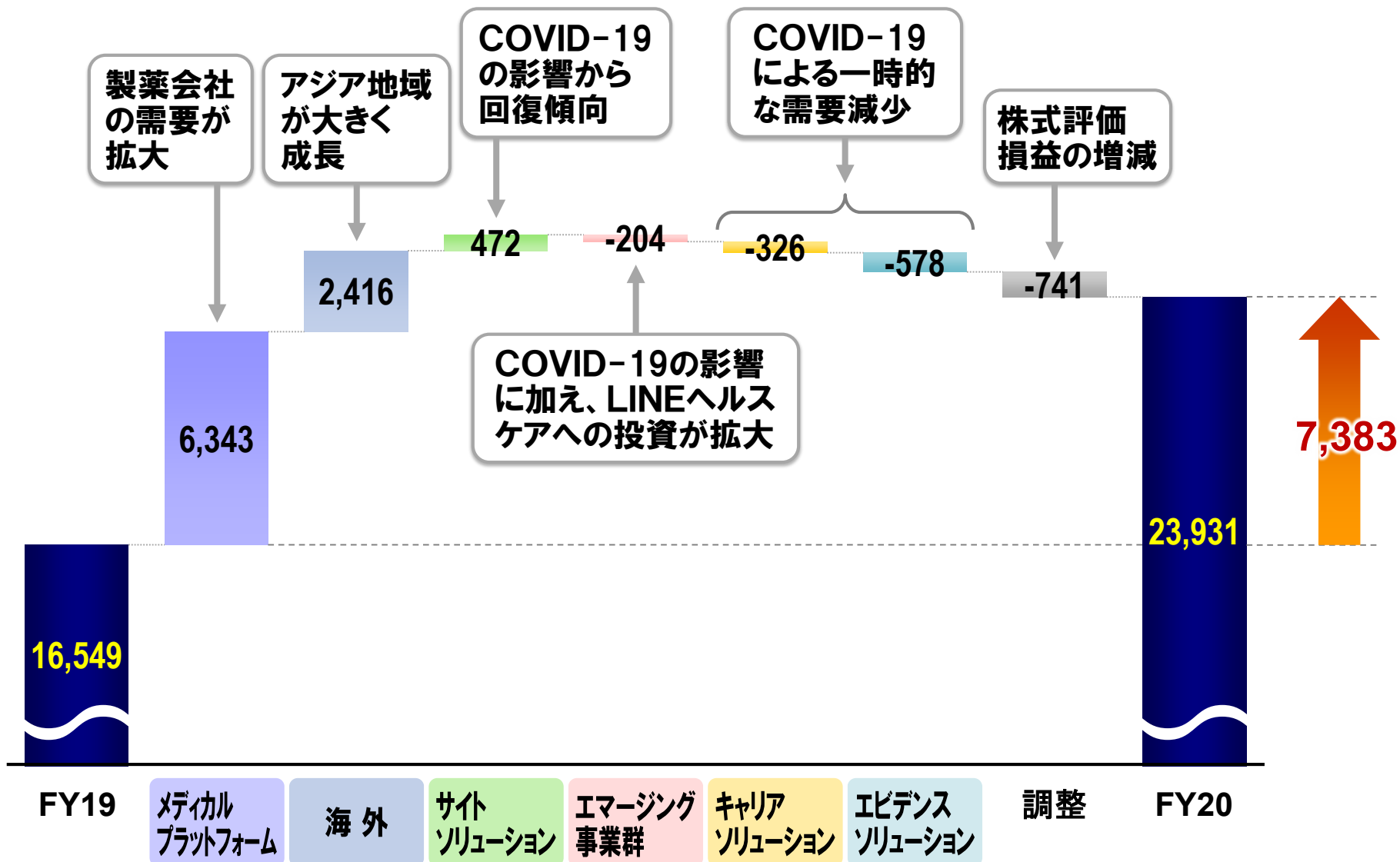
COVID-19による一時的な需要減少

COVID-19の影響から急回復

Q1: +53% →
Q2: +125%
と対前年利益成長率が加速

2020年度第2四半期 連結営業利益増減分析

単位：百万円



2020年度 第2四半期サマリー

COVID-19
インパクト

メディカル プラットフォーム

- 製薬会社のDX構造変化が急速に進展中
- マーケティング支援のH1受注は前年比2.5倍以上

++

エビデンス ソリューション

- COVID-19により一部の治験が停止したが、受注残は235億円と堅調に推移

—

キャリア ソリューション

- COVID-19により医師、薬剤師の転職動向はやや低調

—

サイト ソリューション

- 提携施設は増加、COVID-19関連プロジェクトが増加、業績は急回復

+

エマージング 事業群

- 新規ビジネスの種まきは順調

+-

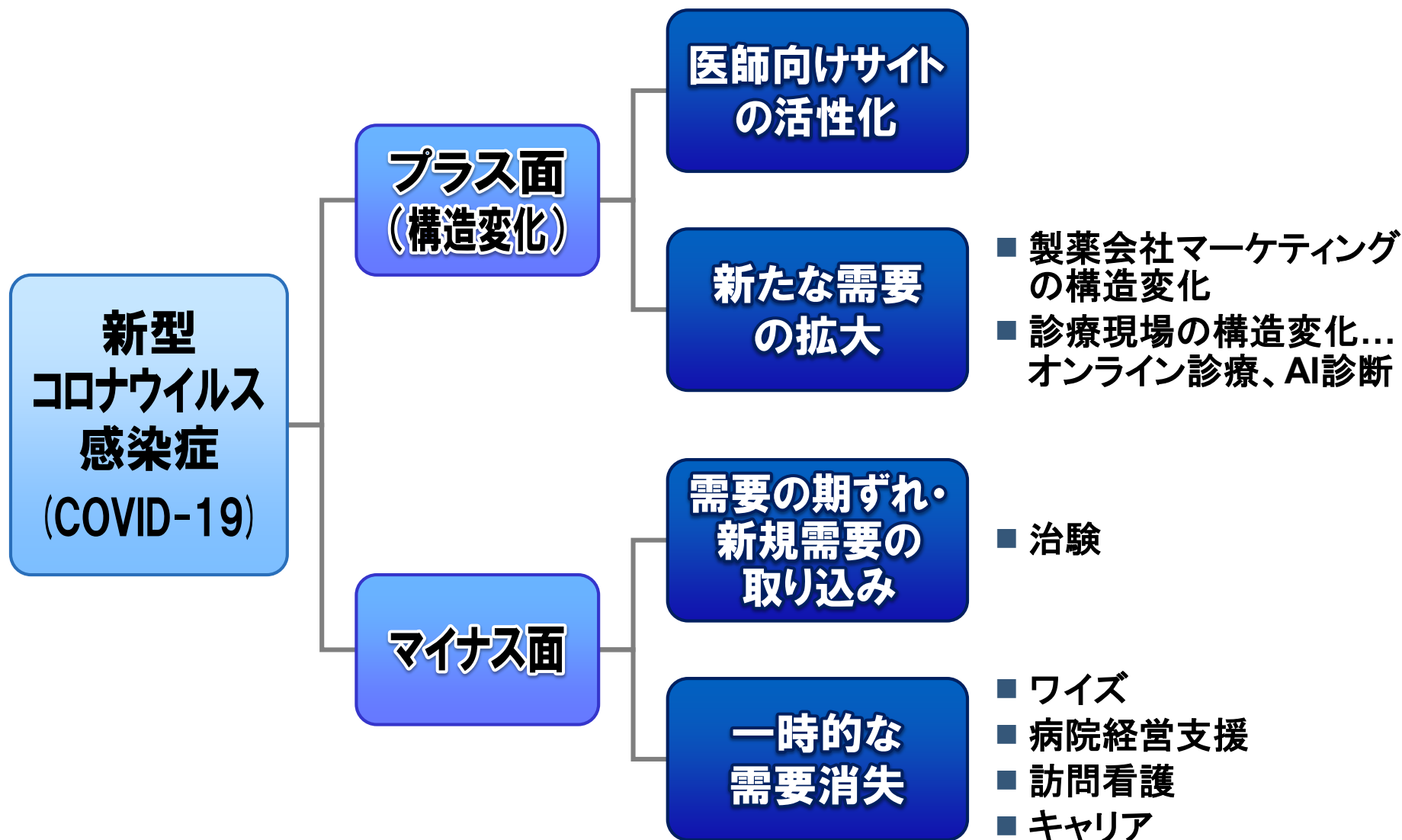
海外

- 中国等のアジア地域が急拡大し、海外セグメントの利益は2倍
- 米国治験事業が回復し、欧米も全般的に堅調に推移

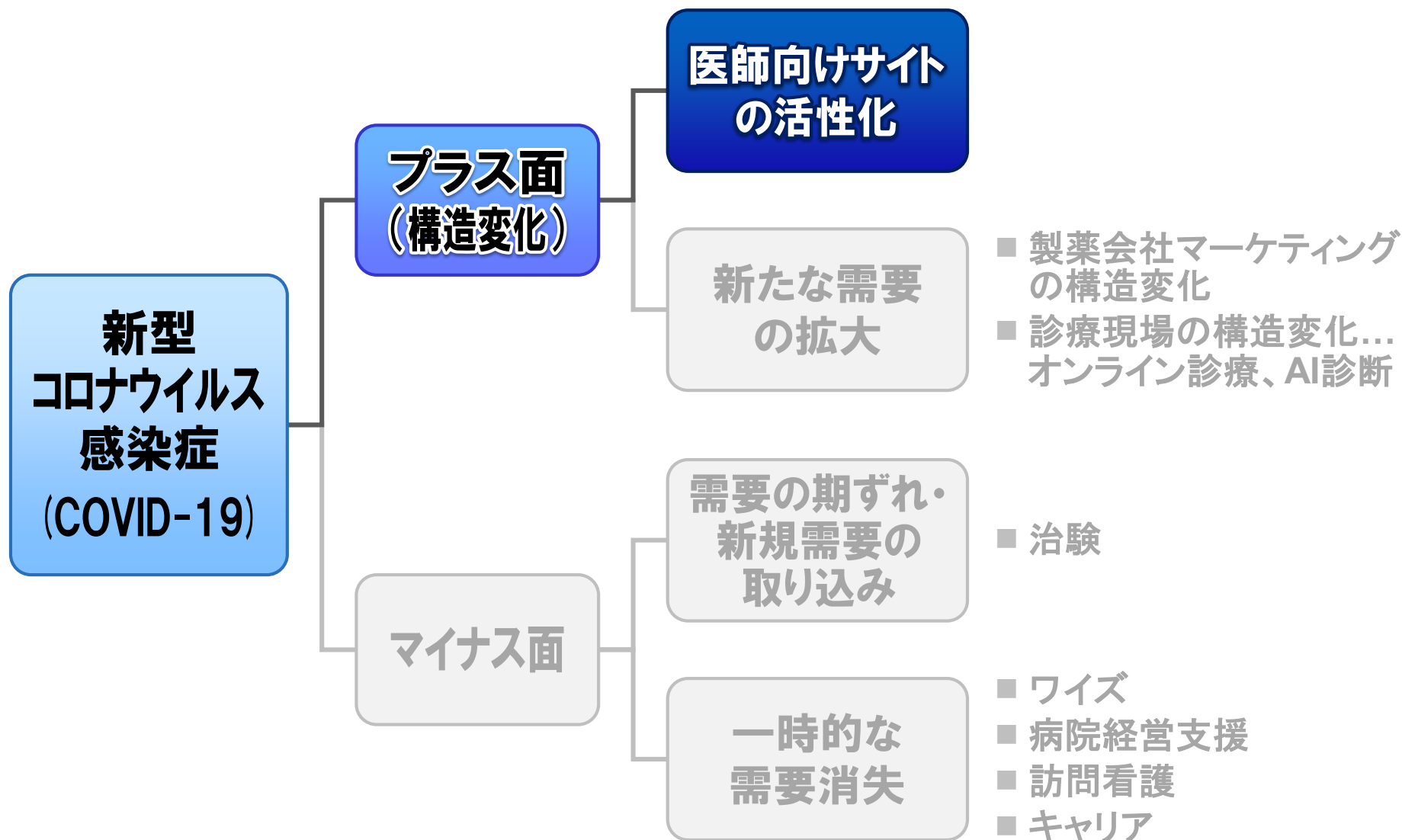
++

COVID-19のエムスリーへの影響

COVID-19のエムスリーへの影響



COVID-19のエムスリーへの影響



m3.comへのサイトアクセス増大

COVID-19関連の情報提供



関連ニュースの集中
配信

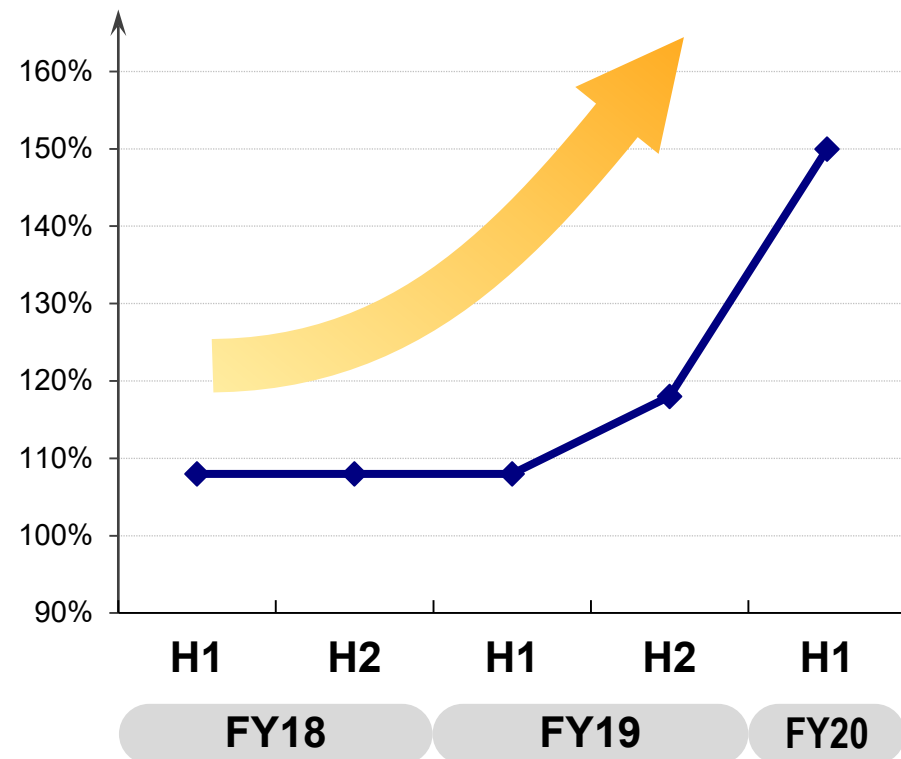


医師コミュニティ内での積極的な情報交換



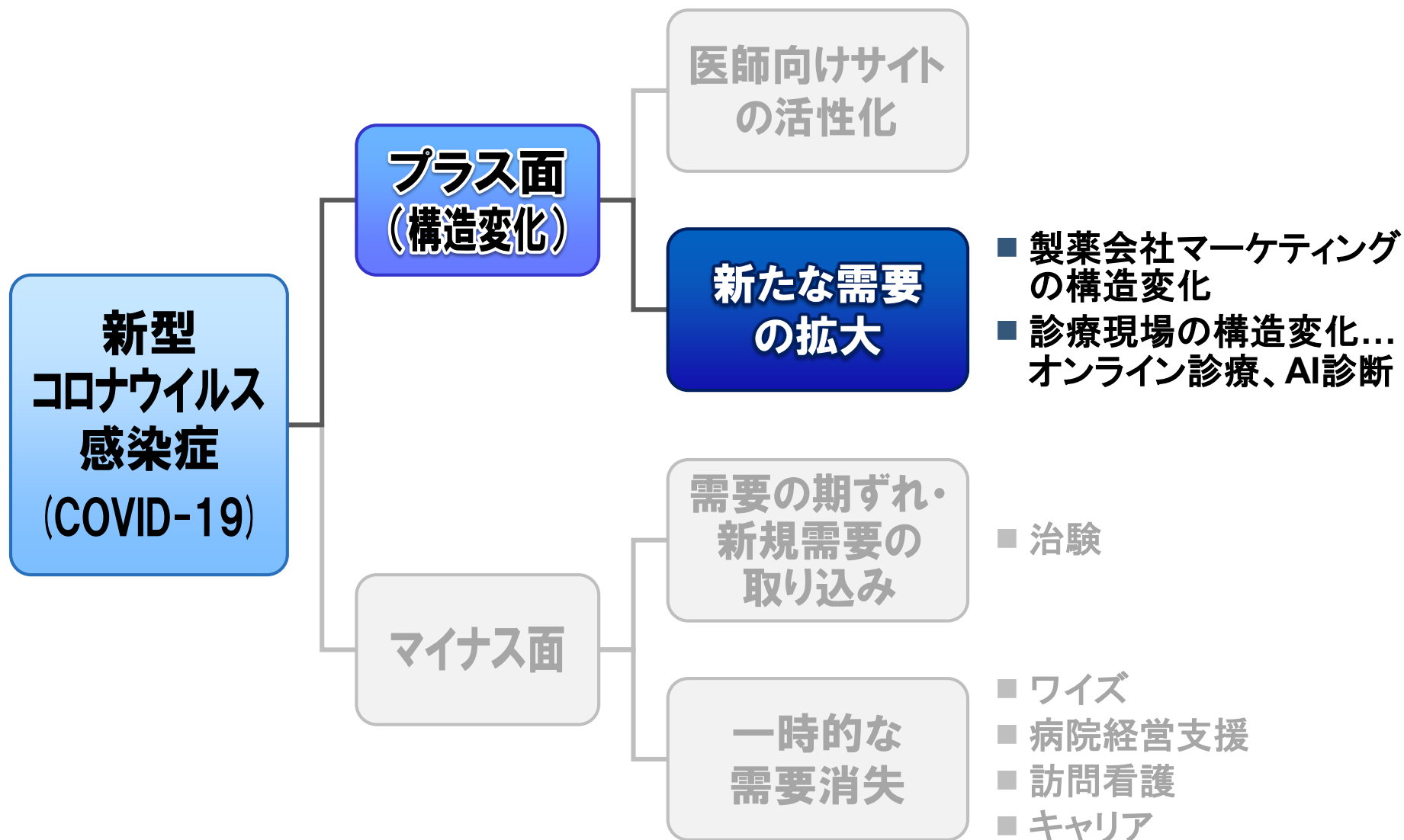
COVID-19診療に関する専門家によるWebセミナー

m3.comのアクセス(前年比)



**COVID-19以降急増したサイトアクセスは高い水準で定着
医療現場の情報インフラとしての重要性が高まっている**

COVID-19のエムスリーへの影響



院内感染対策の徹底

製薬企業のMRの訪問自粛要請

新型コロナとして注目されている治療薬(未承認分含む)の速やかな確保

マスク・防護服、消毒液など備品の調達

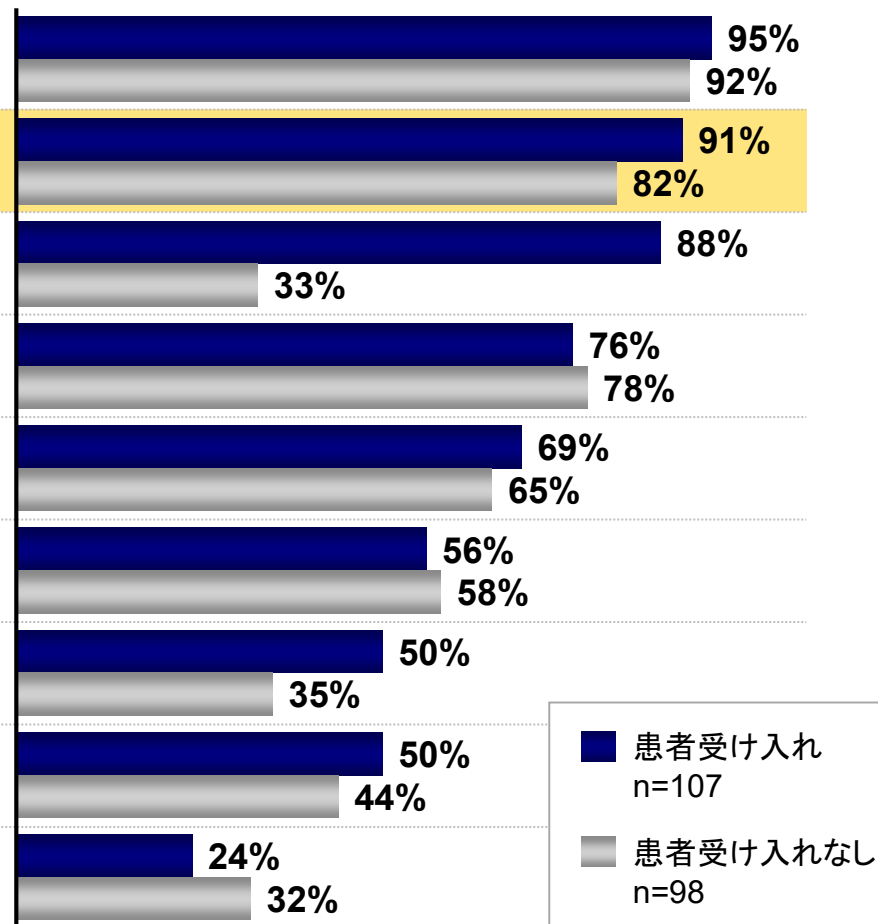
自主回収や原薬の供給不足などが指摘される治療薬の確保

供給不安が懸念される品目の代替薬の選定

新型コロナ治療薬やワクチンのエビデンスの評価、院内での情報共有

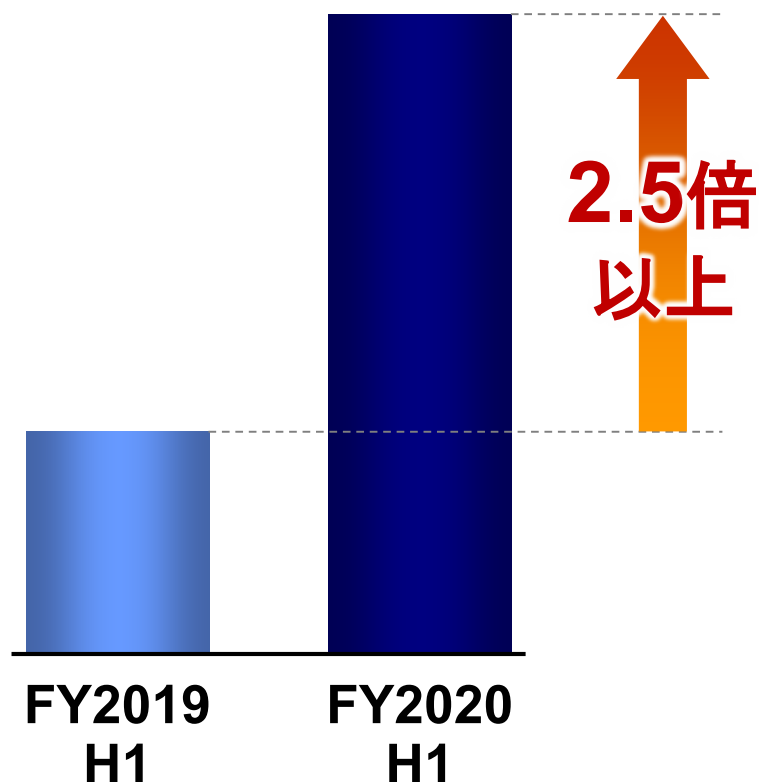
取引実績のある医薬品卸との連携強化(医薬品の供給・配送)

自主回収や新型コロナの影響以外の品目の在庫積み増し



現在も8~9割の病院がMR訪問自粛要請を継続

製薬マーケティング支援 受注金額



- COVID-19の感染拡大に伴い、製薬会社からの需要が急増
- 人員の拡大&プロジェクトも大型化（外部リソースも活用し、営業チームは前年比で+78%の体制）
- 受注したプロジェクトのデリバリー体制強化も進行中

👉 受注ペースはQ1より加速、製薬会社のDXがより本格化

- 公式アカウント友だち数:約789万人(昨年12月以来)
- 11月新たにオンライン診療サービス「LINEドクター」(保険診療)を開始予定

LINE、オンライン診療サービスを今夏リリース LINE Pay連携や予約機能も検討 「医療格差を是正する」

© 2020年05月29日 12時00分公開 [吉川大貴, ITmedia]

印刷 88 Share BI 4

LINEヘルスケアは5月28日、今夏をめどにオンライン診療サービスに参入すると発表した。ビデオ通話を通じて医師が診察できる専用アプリ「医療格差を是正する」をリリースする。国内8千万人以上のユーザーを抱えるSNS（交流サイト）を生かし、2千人以上の医師の利用を見込む。病院や薬局への支払いを電子決済する仕組み作りも検討。オンライン診療は新型コロナウイルスの感染拡大で需要が高まっている。政府も規制を緩和する中、大きな顧客基盤を持つLINEの動きは普及を後押ししそうだ。

オンライン診療 LINEに続け

規制緩和

システム会社や医師派遣会社 新聞熱が参入

LINEヘルスケアは5月28日、今夏をめどにオンライン診療サービスに参入すると発表した。ビデオ通話を通じて医師が診察できる専用アプリ「医療格差を是正する」をリリースする。国内8千万人以上のユーザーを抱えるSNS（交流サイト）を生かし、2千人以上の医師の利用を見込む。病院や薬局への支払いを電子決済する仕組み作りも検討。オンライン診療は新型コロナウイルスの感染拡大で需要が高まっている。政府も規制を緩和する中、大きな顧客基盤を持つLINEの動きは普及を後押ししそうだ。

賛否両論のオンライン診療 LINEも参入、医療制度持続への突破口にも

2020年6月18日(木) 14時00分

LINE Pay 25 ブックマーク 1

医師の山下氏はタブレットで患者の様子を確認する

LINE、オンライン診療アプリ参入 8000万顧客かすー【イブニングスクープ】

2020/05/21 05:20 日本経済新聞電子版 643文字

LINEは今夏にもオンライン診療事業に参入する。ビデオ通話機能を使い、医師が患者を遠隔で診断できる専用のアプリを立ち上げる。国内8千万人以上のユーザーを抱えるSNS（交流サイト）を生かし、2千人以上の医師の利用を見込む。病院や薬局への支払いを電子決済する仕組み作りも検討。オンライン診療は新型コロナウイルスの感染拡大で需要が高まっている。政府も規制を緩和する中、大きな顧客基盤を持つLINEの動きは普及を後押ししそうだ。

ビデオ通話のほか、同社の電子決済「ラインペイ」をオンライン診療アプリと連動させる。病院や薬局の多くはまだ電子決済に対応していないが、同社は各施設に導入を呼びかけていく。

LINEは診療アプリのサービス料を利用者から徴収する。医師や病院から月額料金をとるか、患者が払うかの形にする。オンライン診療は日本では新興企業が多く、利用料金は医師が支払う場合は数万円、患者負担の場合は1回数百円のケースが多い。資本力のあるLINEの参入によってこうした料金の引き下げが進む可能性がある。

オンライン診療は公的医療保険の対象だ。新型コロナを機に政府が規制緩和し、4月から初診を含めて特例で利用できるようになった。ただ、患者と医療機関の双方が同じサービスを使う必要があり、機器導入に費用や手間がかかることが普及の妨げになっていた。LINEは対話アプリで国内8千万人以上のユーザーがいる。なじみのあるサービスを入り口にすることで、患者や医師の心理的なハードルを下げて利用を広げたい構えだ。

オンライン診療急拡大、1万5000施設に LINEも参入

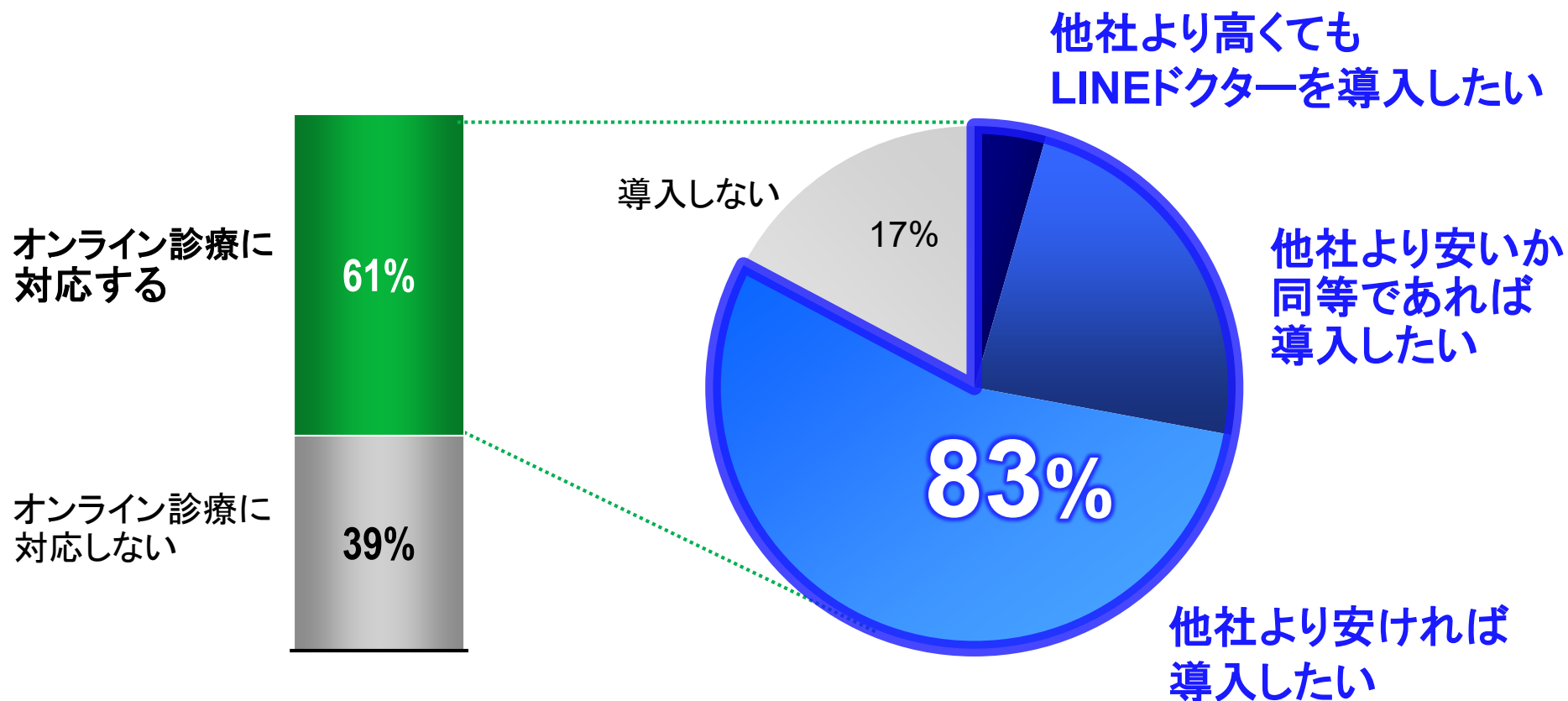
2020/06/10 02:00 日本経済新聞電子版 2650文字

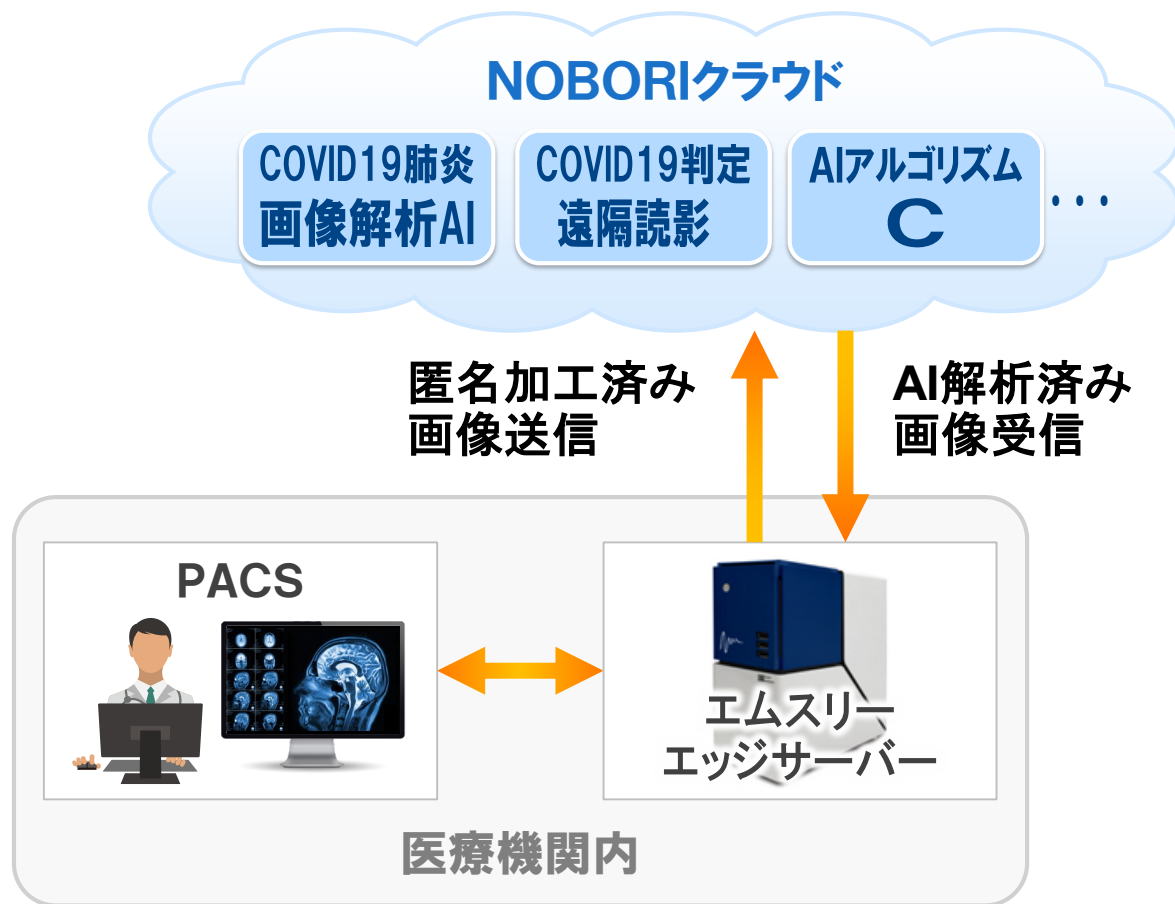
病院へ足を運ばなくてもスマートフォンで医師の診察を受けられる「オンライン診療」が急速に広がってきた。これまでは規制が厳しかったため消極的な医師が多かったが、新型コロナウイルスの感染拡大が状況を一変させた。規制緩和もあり、導入する医療機関が急増。LINEなど大手も参入し、医療機器やサービスとの連携も始まった。一方で「医療の質が低下しないか」と懸念する声もある。

■「リラックスして受診できる」
「オンラインは本当に助かると思者さんたちに好評だ」。都内で内科系クリニックを営む医師の山下巖氏は、4年前に導入したオンライン診療がコロナ禍で真価を発揮したと語る。利用した都内在住の50代男性は「待ち時間がなく便利。自宅でもリラックスして受診でき、質問もしやすい」と効果を話す。コロナの被害が広がった3月以降、感染を恐れて医療機関に行くのを控えた人は多い。オンライン診療システムのインテグリティ・ヘルスケア（東京・中央）の武藤真祐会長は「外来患者が大幅に減少した診療所を支援し、設備更新資金の解決



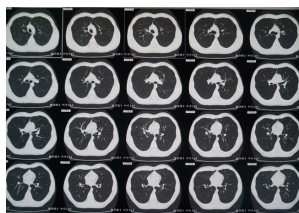
オンライン診療に対応する医師の内、 83%が「LINEドクター」を導入したいと回答





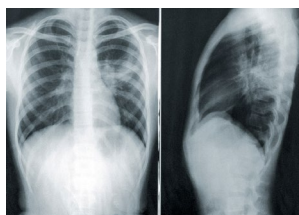
- 医療クラウドサービスを提供する株式会社NOBORIと事業提携
- 多様な画像診断支援AIアルゴリズムを搭載し、PACS(医療用画像管理システム)の制約を受けることなく利用可能
- 部位(頭部、肺、心臓、など)ごとに複数のアルゴリズムを予定

👉 COVID-19肺炎AIと遠隔読影サービスの無償支援の拡大、全国121の医療機関に無償提供



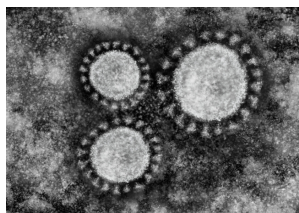
結節影

VUNO Med[®]-LungCT
by 



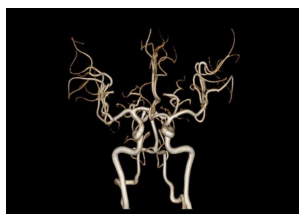
肺結節

EIRL Chest nodule
by  LPIXEL



COVID-19肺炎

Ali-M3
by  Alibaba &  M3, Inc.



脳動脈瘤

EIRL aneurysm
by  LPIXEL

 順次アルゴリズムをAIプラットフォームに搭載

急増するAIプロジェクト (1/2)

AI

		M3提供サービス						
企業	疾患領域	医療データ 収集	アルゴリズム 開発	薬事戦略	臨床研究・ 治験	販売促進	資金	
M3 主導	M3	呼吸器	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	M3	糖尿病性網膜症	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	M3	重症骨粗鬆症	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	M3	海外医療機関	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	M3	COVID-19	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	M3	肺がん	✓	✓	✓			
他社 主導	海外	AIベンチャー	甲状腺エコー				✓	
		AIベンチャー	放射線診断		✓			
		AIベンチャー	冠動脈		✓			
		AIベンチャー	冠動脈		✓			
		AIベンチャー	胸部X線、胸部CT、眼底			✓		✓
		AIベンチャー	マンモグラフィ	✓				
		AIベンチャー	マンモグラフィ			✓	✓	✓
		AIベンチャー	眼底カメラ			✓	✓	✓
		AIベンチャー	胸部X線、胸部CT			✓	✓	✓
		AIベンチャー	胸部X線					✓
		AIベンチャー	胸部X線、胸部CT			✓	✓	✓
		AIベンチャー	眼底検査					✓
		AIベンチャー	胸部X線、頭部CT			✓	✓	✓
		AIベンチャー	腹部CT			✓	✓	✓
大手医療機器	胸部CT					✓		

急増するAIプロジェクト (2/2)

AI

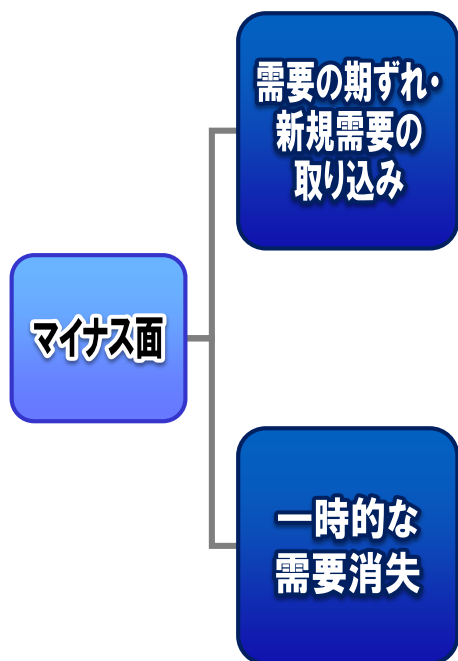
		M3提供サービス					
企業	疾患領域	医療データ 収集	アルゴリズム 開発	薬事戦略	臨床研究・ 治験	販売促進	資金
他社主導 国内	AI ベンチャー	インフルエンザ	✓			✓	
	AI ベンチャー	未破裂脳動脈瘤	✓				
	AI ベンチャー	不眠症	✓				✓
	アカデミア	呼吸器		✓			
	AI ベンチャー	消化器			✓		✓
	大手医療機器	眼底検査			✓		
	大手医療機器	外科/消化器	✓		✓	✓	
	AI ベンチャー	認知症					✓
	AI ベンチャー	胸部X線透視動画				✓	
	AI ベンチャー	病理					✓
	AI ベンチャー	循環器	✓		✓		
	大手医療機器	PACS連動					✓
	大手医療機器	胸部X線/胸部CT			✓		
	大手医療機器	内視鏡検査	✓		✓	✓	
	AI ベンチャー	内視鏡検査			✓		
	AI ベンチャー	頭部MRI、胸部X線、胸部CT、マンモ					✓
	AI ベンチャー	循環器	✓		✓		
	大手医療機器	胸部CT					✓
	アカデミア	間質性肺炎		✓			
	大手医療機器	頭部CT					✓
	AI ベンチャー	レポート					✓
大手医療機器	内視鏡検査	✓					
大手医療機器	頭部MRI、腹部CT			✓	✓	✓	

 累計45の開発支援プロジェクト。AIプラットフォームはローンチ済み

COVID-19のエムスリーへの影響（マイナス面）

Q1時点の想定

Q2以降の変化



- 治験（エビデンスソリューション）
 - 治験の一時的な停止
 - 一段落後は薬剤開発の活発化に伴い需要が拡大する可能性
 - 更に米国ではCOVID-19関連のワクチン試験の需要が発生する見込み
- 脳梗塞リハビリ（メディカルプラットフォーム）
 - リハビリ施設の顧客数減少
- 転職（キャリアソリューション）
 - 転職フェアなどの自粛
 - 医師、薬剤師の転職動向はやや低調
- 病院経営支援（サイトソリューション）
 - 来院者の減少など、病院の経営環境変化
 - 訪問看護（特にリハビリ）の顧客数減少

米国でCOVID-19関連ワクチン試験が開始。米国治験事業の業績は急回復

当初懸念したほどの需要減にならず、費用抑制効果もあって堅調に推移

 COVID-19のマイナス影響は依然継続中だが、当初の想定よりも軽微なものとなる可能性

米治験事業状況

COVID関連治験 受注案件 一部紹介

 ワクチン

 ワクチン

 ワクチン*

REGENERON 治療薬

NOVAVAX ワクチン

 altimmune 治療薬

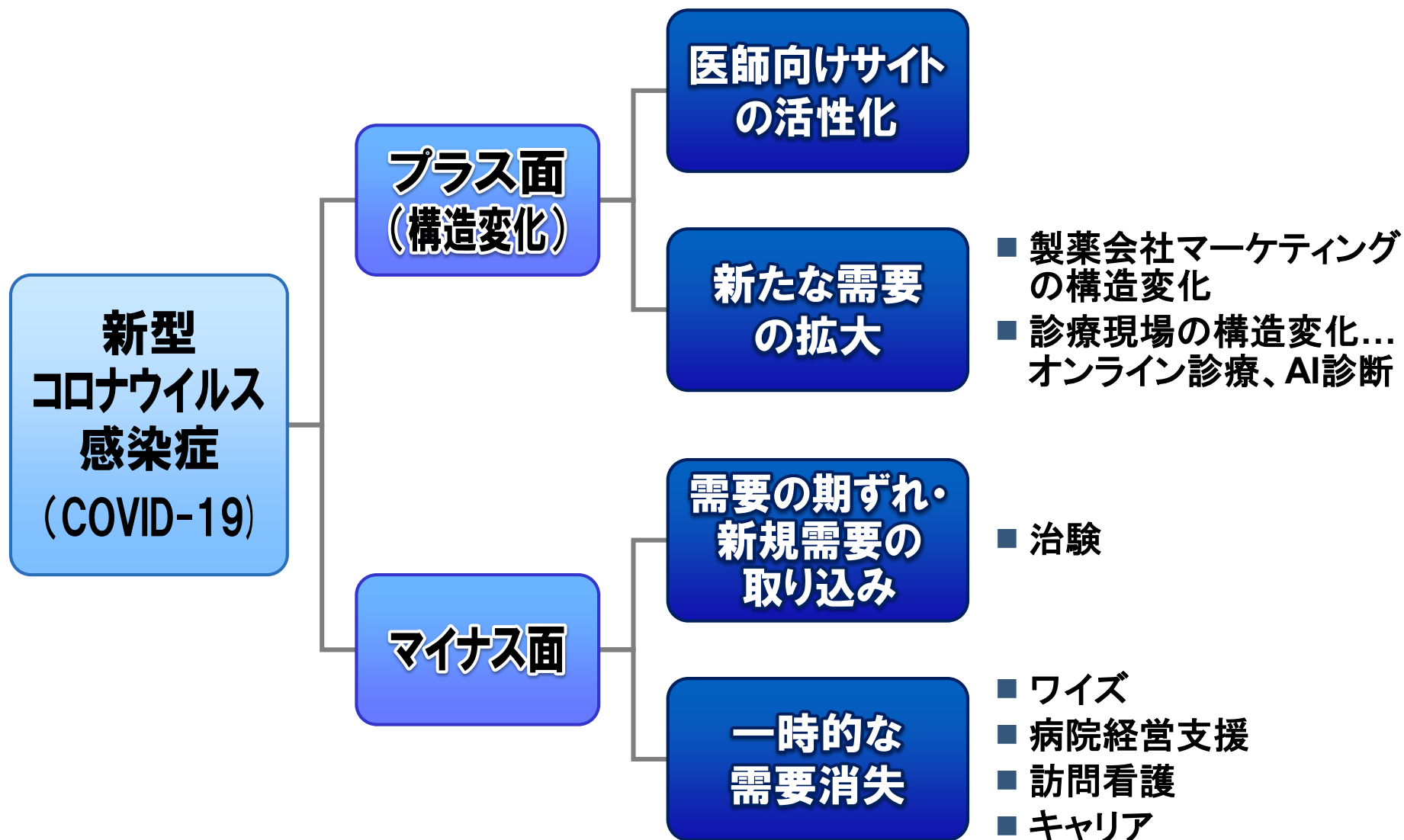
⋮

- COVID-19関連
治験受注額：
数十億円規模
- 年度内は高ペース
予想
- 更なる受注アップ
サイドもあり

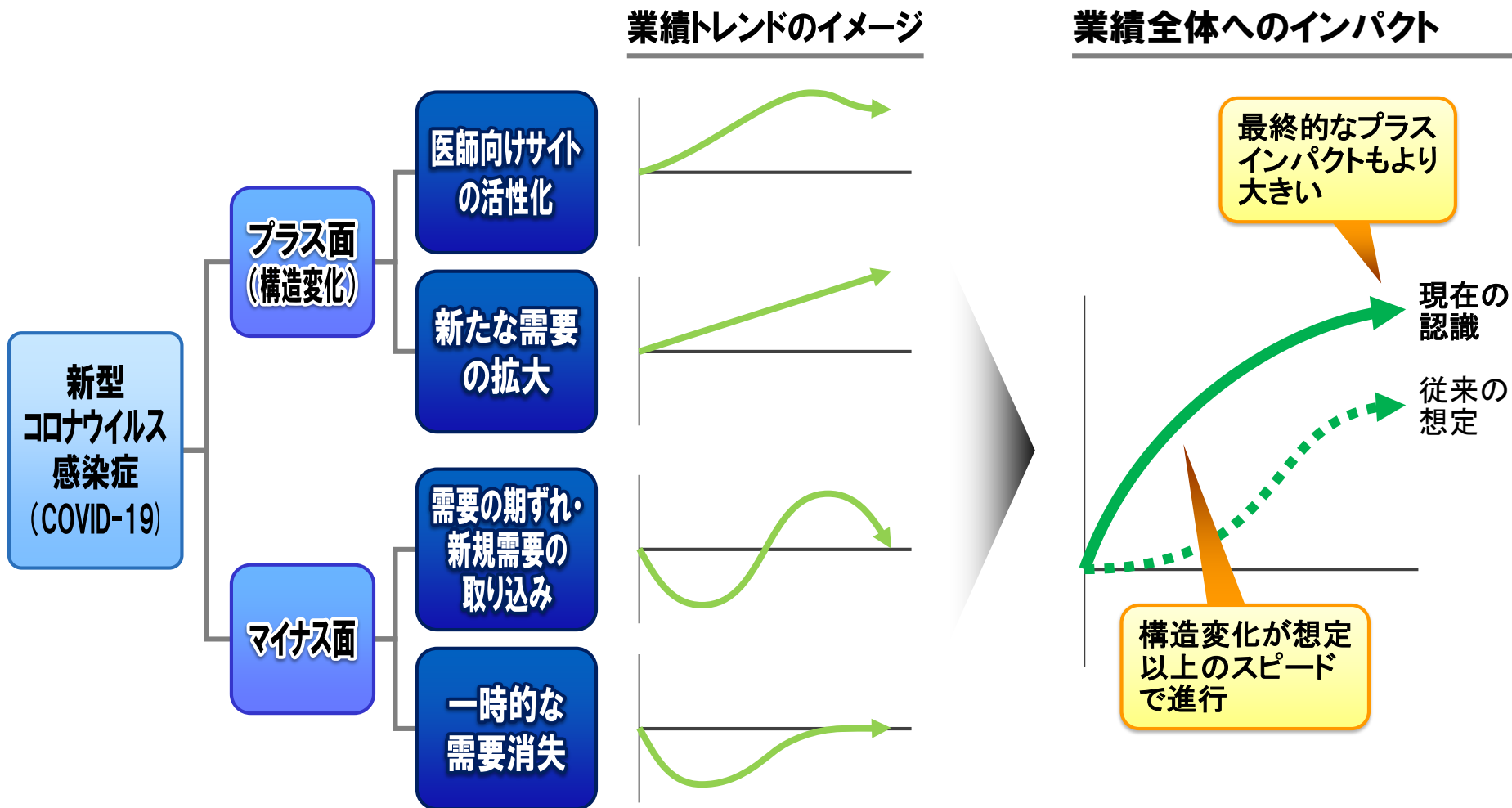
 施設や専門分野の拡大により、COVID後のパイプラインも堅調

* (中断中)

COVID-19のエムスリーへの影響



成長ペースの変化予想（平時を起点としたイメージ）



👉 全体的に、短期的にはニュートラル、中長期的には構造変化が進み大きくプラスと想定していたが、実際は想定以上のレベルで推移

M3の成長戦略

事業領域の拡大と成長ポテンシャル

	2010	2014	2018	2022
国	: 3	→ 5 (1.5倍)	→ 10 (3倍)	→
事業 タイプ数	: 6	→ 10 (1.5倍)	→ 26 (4倍)	→
展開事業数 (タイプ×国)	: 10	→ 18 (2倍)	→ 41 (4倍)	→
売上 (億円)	: 140	→ 370 (2.5倍)	→ 945 (7倍)	→

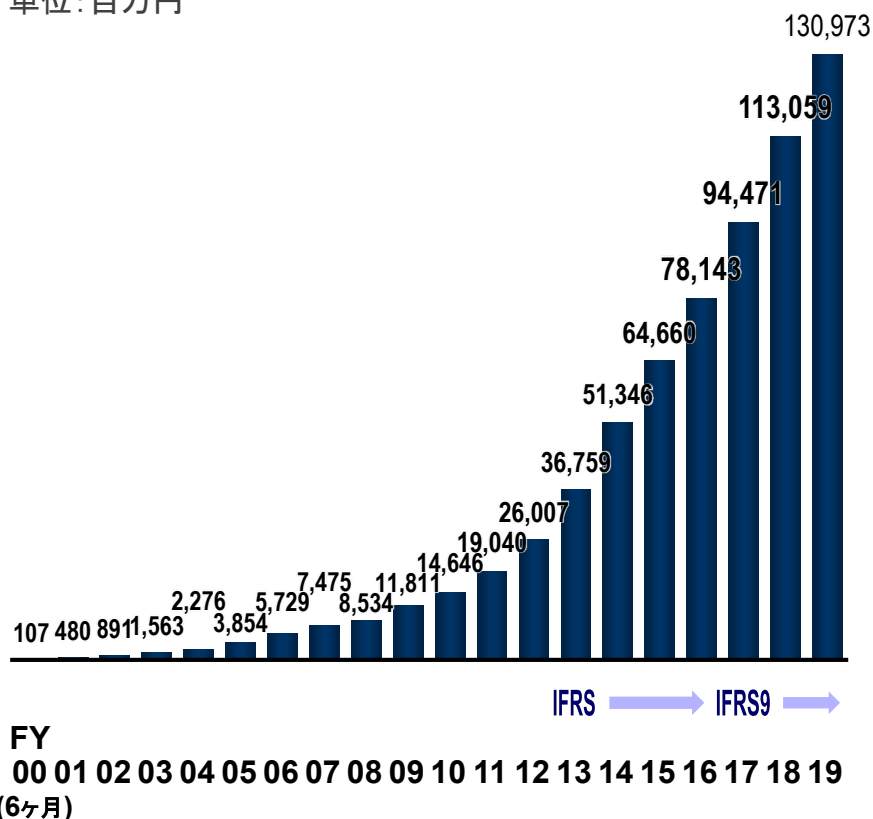
次の4年間
も従来の
成長スピード
を維持する
予定

 現在の10～20倍以上ある成長ポテンシャルを実現するため、
M & Aも含め積極的な先行投資を継続していく方針

エムスリーの業績推移

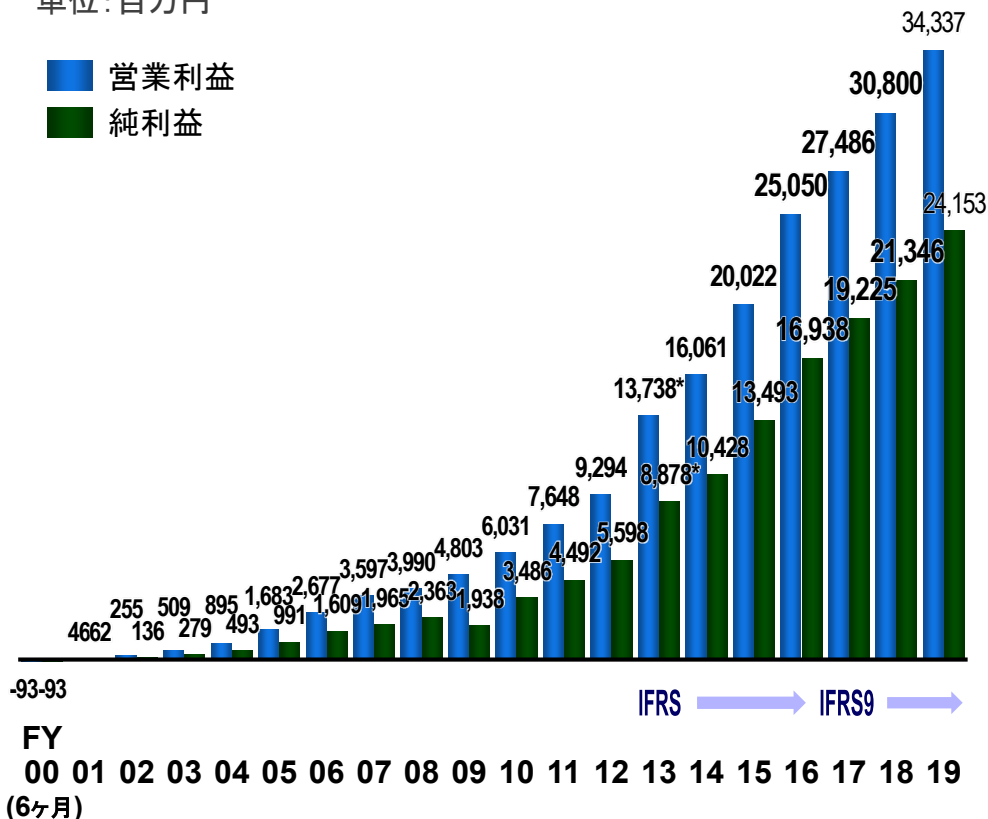
売上収益

単位:百万円



営業利益・純利益

単位:百万円



**変動要素が多いため予想は未定としたが、基本的には成長を持続する見込み
 …過去のリーマンショック、東日本大震災といった局面でも持続的に成長**

* IFRS9号(金融商品)の適用にあわせ、FY17実績をリステート